

October 2, 2020

**【前日の為替概況】ドル円、米10年債利回り0.71%台を受けて105.73円まで堅調推移**

1日のニューヨーク外国為替市場でドル円は小反発したものの、大きな方向感は出なかった。終値は105.53円と前営業日NY終値(105.48円)と比べて5銭程度のドル高水準。8月米個人消費支出(PCE)や前週分の米新規失業保険申請件数が予想より強い内容となり、米10年債利回りが一時0.7186%前後まで上昇すると円売り・ドル買いが先行し、105.73円と日通し高値を付けた。ただ、9月米ISM製造業景気指数が予想を下回ったことが分かると上昇が一服。米10年債利回りが低下に転じたことや米国株が伸び悩んだことも相場の重しとなった。

一時は250ドル超上昇したダウ平均は「米追加経済対策巡る合意は困難」との観測報道が嫌気されて下げに転じたあと、すぐにプラス圏を回復したものの、「ムニューシン米財務長官とペロシ米下院議長(米民主党)は電話会談を行ったものの、合意には至らなかった」と伝わると再び売りが強まり110ドル超下げた。もっとも、協議は継続されることから引けにかけては持ち直した。

ユーロドルは反発。終値は1.1748ドルと前営業日NY終値(1.1721ドル)と比べて0.0027ドル程度のユーロ高水準だった。20時30分過ぎに一時1.1770ドルと日通し高値を付けたものの、21時30分発表の米経済指標が良好な内容だったことが分かるとユーロ売り・ドル買いが優勢となり、23時30分前に一時1.1722ドル付近まで下押しした。NY午後に入ると米追加経済対策を巡る協議の行方を見極めたい雰囲気次第に強まり、値動きが鈍った。

ユーロ円も反発。終値は123.97円と前営業日NY終値(123.65円)と比べて32銭程度のユーロ高水準だった。ドル円の上昇につれた買いが入り一時124.20円と日通し高値を付けたものの、ドル円が伸び悩むとユーロ円にも売りが出て上げ幅を縮めた。

ポンドドルは乱高下。欧州序盤に「英国と欧州連合(EU)の将来関係を巡る交渉で重要分野での溝が埋まっていない」と伝わり、1.2820ドルと日通し安値を付けたものの、英国側で交渉の先行きについて「楽観的な見方が広がっている」との報道が伝わると一転上昇。22時前に一時1.2978ドルと日通し高値を更新した。ただ、この内容をEU側が否定すると再びポンド売りが優勢となり1.2861ドル付近まで押し戻された。NY午後に入ると協議の行方を見極めたいとのムードが強まり、1.28ドル台後半で商いが細った。

**【本日の東京為替見通し】中国市場が休場、今夜の米9月雇用統計控えて動意に乏しい展開か**

本日の東京外国為替市場のドル円は、中国市場が昨日から8日まで国慶節で休場となること、今夜の米9月雇用統計の発表を控えていることで、動きづらい展開が予想される。

米連邦準備理事会(FRB)が重視することになった米9月の雇用統計の予想は、失業率が8.2%で8月の8.4%から低下、非農業部門雇用者数は前月比85万人の増加となっており、8月の137.1万人の増加からは、増加幅の減少が見込まれている。最小予想は、10万人の減少、最大予想は、180万人の増加となっている。9月の雇用統計の調査対象週(9/6-12)の失業保険継続受給者数は、1258万人で8月の1449.2万人から減少しており、改善の可能性が示唆されている。また、9月ADP雇用報告も前月比74.9万人の増加となり、8月の48.1万人の増加(修正値)から増加幅が増え、米9月ISM製造業「雇用」指数が49.6となり、8月の46.4から改善していたことで、ポジティブサプライズに要警戒となる。

新型コロナ景気対策法案に関しては、共和党(1.5兆ドルから1.62兆ドルへ増額)と民主党(2.4兆ドルから2.2兆ドルへ減額)による協議が続いているものの、合意には至っていない。今週末までに合意に至らなければ、米下院が選挙に伴い休会となり、11月3日の米大統領選以降に先送りされることで、本日も経済対策法案の関連ヘッドラインに要警戒となる。

ドル円の注文状況は、上値には、105.80円と105.90円にドル売りオーダー、それぞれ超えるとストップロス買いが控えている。下値には、105.30-40円に断続的にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

ドル円のテクニカル分析では、陰線新安値5手で一目均衡表・雲を下抜けて104.00円まで下落した後、下ヒゲを伸ばした切り込み線などで反発しているものの、攻防の分岐点である雲の下限105.82円に届いていないこと、遅行スパンも逆転したままであることで、綾戻しに過ぎない可能性が示唆されている。

**【本日の重要指標】** ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:30 ◎ 8月完全失業率（予想：3.0%）
- 08:30 ◎ 8月有効求人倍率（予想：1.05倍）
- 08:50 ◇ 9月マネタリーベース
- 14:00 ◇ 9月消費動向調査（消費者態度指数 一般世帯、予想：30.5）

## &lt;海外&gt;

- 10:30 ◎ 8月豪小売売上高（予想：前月比▲4.2%）
- 15:45 ◇ 8月仏財政収支
- 17:00 ◇ 9月ノルウェー失業率（予想：4.0%）
- 17:20 ◎ ホルツマン・オーストリア中銀総裁、講演
- 18:00 ☆ 9月ユーロ圏消費者物価指数（HICP）速報値（予想：前年比▲0.2%）
- 18:00 ☆ 9月ユーロ圏 HICP コア速報値（予想：前年比 0.5%）
- 19:00 ◎ デギンドス欧州中央銀行（ECB）副総裁、講演
- 21:30 ☆ 9月米雇用統計（予想：非農業部門雇用者数変化 85.0万人／失業率 8.2%／平均時給、前月比 0.2%／前年比 4.8%）
- 22:00 ◎ ハーカー米フィラデルフィア連銀総裁、講演
- 23:00 ◎ 9月米消費者態度指数（ミシガン大調べ、確報値、予想：79.0）
- 23:00 ◎ 8月米製造業新規受注（予想：前月比 1.0%）
- 24:00 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 3日 01:00 ☆ 4-6月期ロシア国内総生産（GDP）確報値（予想：前年比▲8.0%）
- 3日 02:00 ◎ カシュカリ米ミネアポリス連銀総裁、講演
- 韓国（秋夕）、香港（中秋節の翌日）、中国（国慶節・中秋節）、インド（マハトマ・ガンジー生誕日）、休場
- 欧州連合（EU）首脳会議（ブリュッセル、最終日）
- 英国と欧州連合（EU）の首席交渉官級による第9回協議（ブリュッセル、最終日）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

1日 05:33 ブラード米セントルイス連銀総裁  
「米経済により強気になっている」

1日 08:10 ムニューシン米財務長官  
「ペロシ米下院議長と生産的な会談を行った。今夜再度会談する予定」  
「民主党が提案した 2.2 兆ドルの経済対策案を受け入れない」  
「公平な歩み寄りを受け入れる準備」

1日 10:18 NZ 準備銀行(RBNZ)  
「金融システムの健全性を維持することをコミット」  
「想定外・未曾有の困難を乗り越え、景気回復を支援」

1日 14:24 ボーヌ仏欧州問題担当相  
「欧州連合(EU)以上に英国がブレグジット合意を必要としている」  
「11 月末までにブレグジット協議が合意に至る可能性はある」

1日 18:12 フォンデアライエン欧州委員長  
「国内市場法案について英国に正式な通知書を送付した」  
「英国は 1 カ月以内に返答する必要がある」

1日 19:20 バルニエ欧州連合(EU)離脱首席交渉官  
「離脱協定案の完全かつ効果的な実施こそが絶対的な優先事項」

1日 20:12 デギンドス欧州中央銀行(ECB)副総裁  
「急いでパンデミック緊急購入プログラム(PEPP)の調整を決定する必要はない」

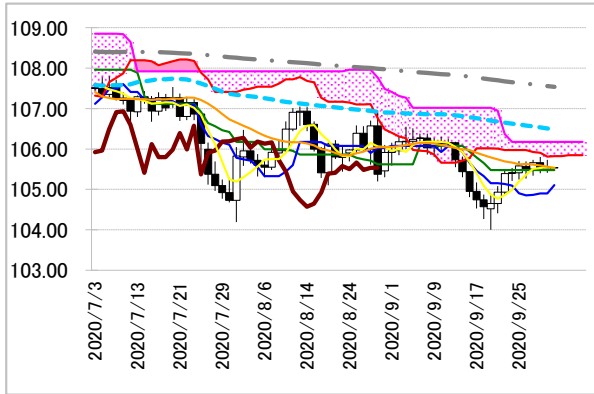
2日 00:05 ペロシ米下院議長(米民主党)  
「米景気対策の合意は可能だと希望を持っている」

2日 00:51 マクナニー米大統領報道官  
「米政府は 1.6 兆ドルの景気対策案を提示した」

2日 03:18 シューマー米上院院内総務(民主党)  
「ペロシ米下院議長(米民主党)とトランプ政権は景気対策案で合意できず」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

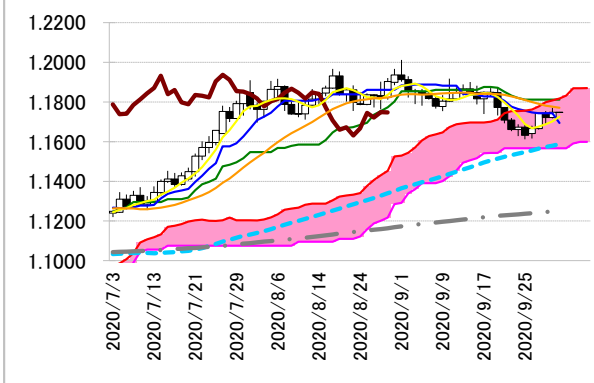


### <ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

小陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、陰線新安値5手で下落後、切込み線で反発し、転換線を上回って引けており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.82(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	105.53
サポート1	105.11(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	104.41(9/22 安値)

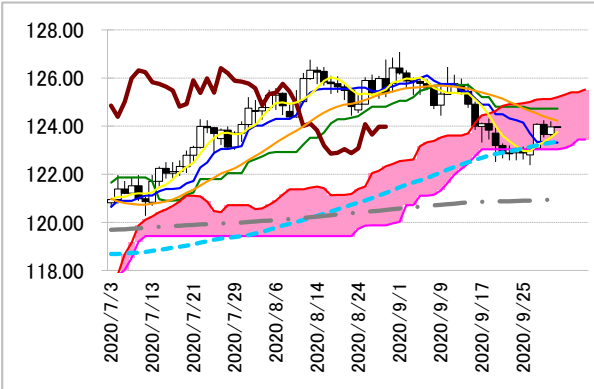


### <ユーロドル＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。ただし、陰線新安値9手で下落後、反発して転換線を上回って引けたことで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1817(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1748
サポート1	1.1693(日足一目均衡表・転換線)

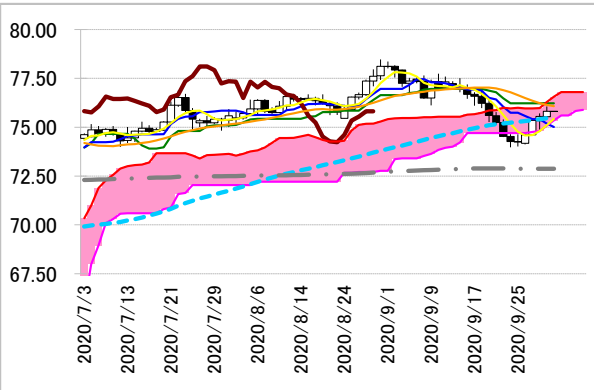


### <ユーロ円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、孕み線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	124.73(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	123.97
サポート1	123.32(日足一目均衡表・転換線)



### <豪ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかしながら、4手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	76.22(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	75.81
サポート1	75.02(日足一目均衡表・転換線)

